

## 運用報告書(全体版)

# 新ホリコ・フォーカス・ファンド 〈愛称：新自由の女神〉

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2016年5月11日設定）
運用方針	投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への直接投資は行いません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

## 第1期

決算日：2017年3月15日

(2016年5月11日～2017年3月15日)

### 受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

## ■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は単位未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

## 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	親 投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
(設 定 日) 2016年 5月11日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 26
1期(2017年 3月15日)	12,733	0	27.3	93.4	0.3	397

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

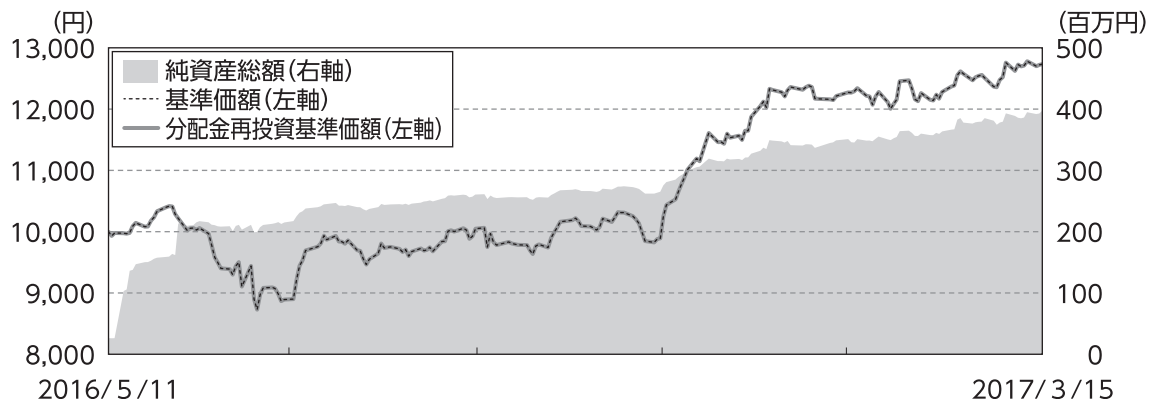
## 当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	親 投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率			
(設 定 日) 2016年 5月11日	円 10,000	% —	% —	% —
5月末	10,418	4.2	94.4	0.6
6月末	8,974	△10.3	91.5	0.5
7月末	9,859	△1.4	95.3	0.4
8月末	10,006	0.1	95.3	0.4
9月末	9,791	△2.1	98.1	0.4
10月末	10,254	2.5	96.8	0.4
11月末	11,435	14.4	94.2	0.3
12月末	12,170	21.7	96.2	0.3
2017年 1月末	12,334	23.3	94.4	0.3
2月末	12,356	23.6	95.9	0.3
(期 末) 2017年 3月15日	12,733	27.3	93.4	0.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

## 当期中の運用経過と今後の運用方針

### ■当期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：12,733円(既払分配金0円)

騰落率：27.3%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 設定日の基準価額には、当初元本を用いています。

### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは米ドル建ての外国投資信託である「HCフォーカス・ファンド・クラスA」(以下、「HCフォーカス・ファンド」)を主要投資対象とするため、当該外国投資信託の基準価額および米ドル/円相場の動向が基準価額の主な変動要因となります。

当期は、HCフォーカス・ファンドが堅調に推移したほか、期後半に大きく米ドル高・円安が進んだことから、当ファンドの基準価額は大幅に上昇しました。

## ■投資環境

### ●米国株式市場

米国株式市場は、2016年6月に英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱の結果となり大きく下落する局面もありましたがすぐに回復し、その後は米大統領選を控えて上値の重い展開となりました。そして、同年11月にトランプ氏が大統領選に勝利すると、減税や規制緩和、インフラ投資などの経済政策への期待感から株価は上昇しました。なかでも、米大統領選後の米長期金利の上昇により恩恵を受ける金融セクターや、トランプ政権の掲げる減税措置により海外資金の自由度が高まると期待されるハイテクセクターなどが相場を牽引し、主要株式指数は揃って過去最高値を更新しました。

### ●為替市場

#### 米ドル／円相場

米ドル／円相場は、期初から2016年6月末まで、米長期金利の低下や英国国民投票の結果を受けたリスク回避目的の円買い圧力の高まり等から、大きく米ドル安・円高が進行しました。しかし、2016年11月の米大統領選後は米長期金利の大幅な上昇に合わせて急速に米ドル高・円安が進行する展開となり、期間を通してみると、途中の振れ幅は大きくなったものの、まとまった米ドル高・円安となりました。

### ●国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策が継続するなか、日本の短期金利は極めて低位に推移しました。国庫短期証券(3ヶ月物)は期を通してマイナス利回りで推移し、 $-0.33\%$ 近辺で当期末を迎えました。

## ■当ファンドのポートフォリオ

### 当ファンド

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、主要投資対象である外国投資信託(HCフォーカス・ファンド)のパフォーマンスを享受すべく、当該外国投資信託の組入比率を高位に維持する運用を行いました。また、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」に投資しました。

### HCフォーカス・ファンド・クラスA

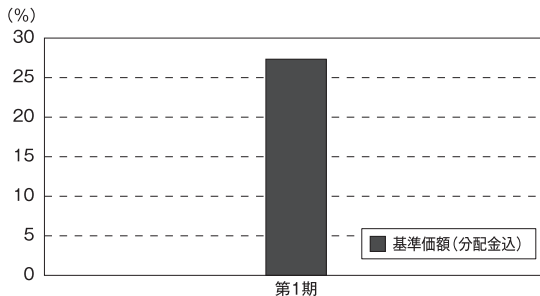
当期のHCフォーカス・ファンドはバリュエーションの観点から割安感のあったハイテク大型株を中心としたポートフォリオを構築し、運用を開始しました。2016年11月の大統領選後は、相場下落に備えたプット・オプションを売却する一方で、保険会社などを中心に金融セクターの割合をさらに増やす調整を行いました。

### 楽天・国内マネー・マザーファンド

主に、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引による運用を行いました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



## ■分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期	
	2016年5月11日～2017年3月15日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	(—)	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,733	

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

当ファンド

引き続き、HCフォーカス・ファンドと「楽天・国内マネー・マザーファンド」を投資対象とし、HCフォーカス・ファンドへの投資割合を高位に維持することを目指します。

HCフォーカス・ファンド・クラスA

HCフォーカス・ファンドは、徹底したリサーチと中長期的な観点から割安株を厳選し、比較的少数の銘柄に集中投資を行います。具体的には、短期的な需給、信用市場の不透明感、一時的な業績不振などにより株価が割安な水準での取引となっているものの中から、中長期的には競争力があり、永続的な成長性が期待できる会社を抽出し集中投資する方針としております。

米国株式市場は今後、トランプ大統領の政策期待に基づく展開から、その実現性を見極める展開に入っていくと見られます。特に減税を中心とする税制改革は最大の焦点となりますが、既に投資家の期待が高いこともあって、僅かな内容・成立時期の後退でも相場が一時的に調整する局面が予想されます。しかしタイミングの前後はあれ、トランプ大統領及び共和党の目指す経済政策は投資やビジネス全般の資本コストを下げる効果があると考えられ、政策が実現されれば中長期的に経済成長率、延いては株式のリターンを引き上げていくと見込まれます。当ファンドは、そのような機会を生かすと共に、引き続き経済及び金利水準の正常化や減税の恩恵を受けられると見られる銘柄への集中投資を進めていく方針です。但し割安株が本来の価値で評価されるようになるまでにはある程度の時間が必要です。投資家の皆様におかれましては中長期の視点から見守っていただければ幸いです。

楽天・国内マネー・マザーファンド

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引、コールローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

# 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2016年5月11日～2017年3月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	100円	0.929%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,760円です。
（投信会社）	(59)	(0.548)	・委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.335)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(5)	(0.046)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	53	0.493	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(19)	(0.177)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(8)	(0.074)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(26)	(0.242)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
（その他）	(0)	(0)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	153	1.422	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。



## 売買および取引の状況

### ■投資信託証券

			当 期			
			買 付		売 付	
			単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
外国	ケイマン諸島	HCフォーカス・ファンド・クラスA	千口 2,604,137	千米ドル 2,670	千口 -	千米ドル -

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■親投資信託受益証券の設定、解約状況

		当 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
楽天・国内マネー・マザーファンド	千口 996	千円 1,000	千口 -	千円 -	

(注) 単位未満は切捨て。

## 利害関係人との取引状況等

当期における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(\*) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

## 自社による当ファンドの設定・解約状況

期中における該当事項はありません。

## 組入資産の明細

### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末			比 率
	口 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千米ドル	千円	%
HCフォーカス・ファンド・クラスA	2,604,137	3,230	370,934	93.4
合 計	2,604,137		370,934	93.4

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■親投資信託残高

	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
楽天・国内マネー・マザーファンド	996	999

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の当期末現在の受益権口数は、2,048,662千口です。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 証 券	370,934	92.8
楽 天 ・ 国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	999	0.2
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	27,897	7.0
投 資 信 託 財 産 総 額	399,830	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=114.83円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(370,998千円)の投資信託財産総額(399,830千円)に対する比率は、92.8%です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	399,830,785円
コール・ローン等	27,897,132
楽天・国内マネー・マザーファンド	999,501
投資信託受益証券	370,934,152
(B) 負 債	2,546,015
未払解約金	677,739
未払信託報酬	1,309,680
その他未払費用	558,596
(C) 純資産総額(A-B)	397,284,770
元 本	312,011,367
次期繰越損益金	85,273,403
(D) 受益権総口数	312,011,367口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,733円

(注) 設定時元本額 26,194,533円  
 期中追加設定元本額 333,277,092円  
 期中一部解約元本額 47,460,258円

### ■損益の状況

(自2016年5月11日 至2017年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△8,686円
支 払 利 息	△8,686
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	74,966,810
売 買 益	80,052,396
売 買 損	△5,085,586
(C) 信 託 報 酬 等	△3,947,260
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	71,010,864
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	14,262,539
(配 当 等 相 当 額)	(△2,172)
(売 買 損 益 相 当 額)	(14,264,711)
(F) 合 計(D+E)	85,273,403
(G) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	85,273,403
追 加 信 託 差 損 益 金	14,262,539
(配 当 等 相 当 額)	(△2,180)
(売 買 損 益 相 当 額)	(14,264,719)
分 配 準 備 積 立 金	71,019,944
繰 越 損 益 金	△9,080

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。  
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### <分配金の計算過程>

項 目	当 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	—円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	71,019,944円
(C) 収益調整金額	14,255,639円
(D) 分配準備積立金額	—円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	85,275,583円
(F) 期末残存口数	312,011,367口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	2,733.09円
(H) 分配金額(1万口当たり)	—円
(I) 収益分配金金額 (F×H/10,000)	—円

## お知らせ

該当事項はありません。

## ■組入ファンドの概要

以下は、『新ホリコ・フォーカス・ファンド』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当期末において入手できる直近の情報を掲げております。

ファンド名	運用会社又は投資顧問会社	決算日
HCフォーカス・ファンド・クラスA	ホリコ・キャピタル・マネジメント・ エル・エル・シー	2016年12月31日 ※
楽天・国内マネー・マザーファンド	楽天投信投資顧問株式会社	2016年6月15日

※直近の情報の「損益計算書」および「投資資産明細」は「HC Focus Fund (A Unit Trust) Financial Statements For the year ended December 31, 2016」の情報を基に掲載しています。

## 1. HCフォーカス・ファンド・クラスA

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍／外国投資信託／米ドル建
運用目的および主な運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 比較的少数の上場株式への投資を通じて、リスク調整後ベースで長期的な資産の成長を目指します。</li> <li>- ファンダメンタル・リサーチをもとに本来的に持つ価値から大きく乖離していると考えられる（割安と判断される）対象を厳選し、ポートフォリオを構築します。</li> <li>- 米国株式を主な投資対象としますが、上場デリバティブや米国以外の外国株式への投資、および空売りを行うことがあります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 上場商品および米国債を投資対象とします。ETFやMMFを含む投資信託証券への投資は行いません。</li> <li>- 純資産総額の10%を超える借り入れおよび空売りは行いません。</li> <li>- 単一の発行体に対する買い持ちに相当するエクスポージャーは、株式およびデリバティブにおいて、それぞれ純資産総額の10%を超えないものとします。</li> <li>- 取引の相手方に対するエクスポージャーは、同一の相手先について純資産総額の10%を超えないものとします。</li> </ul>
分配方針	原則として分配は行いません。
申込手数料	ありません。
運用報酬等	<p>運用報酬：純資産総額に対して年0.8%</p> <p>成功報酬：超過収益の20%（成功報酬が確定し、支払われた直近の水準をハイウォーターマークとし、成功報酬以外の各種費用控除後の投資収益がハイウォーターマークを上回った場合その超過分の20%を成功報酬として認識します。ハイウォーターマークは追加設定・一部解約のつど調整されます。成功報酬は日々計算され増減し、四半期毎に確定金額が支払われます。）</p> <p>受託会社報酬：年間20,000米ドル</p> <p>管理事務代行会社報酬：純資産総額に対して年0.09%（ただし月額最低3,000米ドル）</p> <p>その他費用：組入有価証券の売買時の売買委託手数料、資産の保管やクリアリングなどに要する費用、借入金の利息、投資信託財産に関する租税、監査法人への報酬、弁護士費用、法定書類等の作成・印刷・交付にかかる費用、その他日常的な運営費用等</p>
信託財産留保額	ありません。
受託会社	メイブルズ・トラスティ・サービシズ（ケイマン）リミテッド
投資顧問会社	ホリコ・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シー
管理事務代行会社	カスタム・ハウス・グローバル・ファンド・サービシズ・リミテッド

**HC Focus Fund  
(A Unit Trust)**

**Statements of operations**

*For the years ended December 31, 2016*

	2016
<b>Investment income</b>	
Dividends (net of foreign withholding taxes of \$89,928 for 2016)	\$ <u>320,412</u>
<b>Operating expenses</b>	
Management fees	636,373
Incentive fees	77,755
Interest expense	40,953
Administration fees	39,585
Professional fees	37,761
Dividends on short positions	28,247
Audit fees	26,530
Trustee fees	22,650
Commissions and other charges	18,740
Other expenses	8,707
Total operating expenses	<u>937,301</u>
<b>Net investment loss</b>	<u>(616,889)</u>
<b>Realized and unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency</b>	
Net realized gain on sale of investments	2,444,970
Net realized gain on transactions in foreign currencies	44,107
Change in unrealized gain/(loss) on investments	1,844,852
Change in unrealized loss on translation of assets and liabilities in foreign currencies	<u>(54,833)</u>
Net realized and unrealized gain/(loss) on investments and foreign currency	<u>4,279,096</u>
<b>Net change in net assets resulting from operations</b>	\$ <u><u>3,662,207</u></u>

## HC Focus Fund (A Unit Trust)

### Schedule of investments

At December 31, 2016

Investments (99.8% of net assets)	Shares	Cost	Fair Value
<b>Common stock (78.1% of net assets)</b>			
<b>Bermuda (1.4%)</b>			
Financial (1.4%)		\$ 555,814	\$ 588,948
<b>United States (76.7%)</b>			
Basic Material (1.5%)		606,911	643,959
Communications (10.2%)			
Yahoo!, Inc. (5.2%)	58,873	2,123,814	2,276,619
Other (5.0%)		1,629,195	2,160,064
Consumer, Cyclical (11.7%)		4,671,647	5,071,005
Consumer, Discretionary (4.3%)		2,067,806	1,848,430
Energy (5.2%)			
Phillips 66 (5.2%)	25,873	1,775,844	2,235,686
Financial (20.6%)			
Citigroup, Inc. (7.0%)	51,291	2,486,117	3,048,224
Bank of America Corp. (5.6%)	108,598	1,296,775	2,400,016
Other (8.0%)		3,164,137	3,493,073
Health Care (5.0%)		2,236,803	2,159,829
Technology (18.2%)			
Microsoft Corp. (5.2%)	36,504	2,064,843	2,268,359
Apple, Inc. (5.1%)	19,015	1,917,432	2,202,317
Other (7.9%)		3,701,146	3,404,046
Total United States		<u>29,742,470</u>	<u>33,211,627</u>
Total common stock		30,298,284	33,800,575
<b>Exchange-traded funds (5.6% of net assets)</b>			
<b>United States (5.6%)</b>			
Index Funds (5.6%)			
VelocityShares Daily Inverse VIX Short-Term ETN (5.6%)	51,543	1,434,832	2,409,635
<b>Options (12.8% of net assets)</b>			
<b>Put Options (5.4%)</b>			
<b>China (5.4%)</b>			
Information technology			
Alibaba Group Holding-SP ADR (5.4%)	554	\$ 1,904,436	\$ 2,330,955

## HC Focus Fund (A Unit Trust)

### Schedule of investments (continued)

At December 31, 2016

Investments (99.8% of net assets)	Cost	Fair Value
<b>Options (12.8% of net assets) (continued)</b>		
<b>Call Options (7.4%)</b>		
<b>United States (7.4%)</b>		
Communications (4.09%)	\$ 2,076,567	\$ 1,767,640
Technology (3.32%)	<u>1,315,653</u>	<u>1,436,613</u>
Total United States	<u>3,392,220</u>	<u>3,204,253</u>
Total Options	5,296,656	5,535,208
<b>Warrants (3.3% of net assets)</b>		
<b>United States (3.3%)</b>		
Consumer Goods	<u>1,302,794</u>	<u>1,426,682</u>
<b>Total investments</b>	<b>\$ <u>38,332,566</u></b>	<b>\$ <u>43,172,100</u></b>



## 楽天・国内マネー・マザーファンド

第6期(2016年6月15日)

### 《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行ないます。
主な投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

**楽天投信投資顧問株式会社**

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

URL : <http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

## 2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

### 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	その他 有価証券	純資産総額
	円	騰落率				
(設定日) 2010年 6月25日	10,000	—	—	—	—	百万円 30
1期(2011年 6月15日)	10,007	0.1	66.6	—	—	30
2期(2012年 6月15日)	10,015	0.1	66.6	—	—	30
3期(2013年 6月17日)	10,022	0.1	90.0	—	—	500
4期(2014年 6月16日)	10,028	0.1	98.2	—	—	1,120
5期(2015年 6月15日)	10,029	0.0	※96.7	—	—	3,101
6期(2016年 6月15日)	10,030	0.0	※47.9	—	※47.8	1,254

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) ※印は現先で保有している債券を含みます。

### 当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	その他 有価証券
	円	騰落率			
(期首) 2015年 6月15日	10,029	—	※96.7	—	—
6月末	10,029	0.0	—	—	—
7月末	10,030	0.0	—	—	—
8月末	10,030	0.0	※96.7	—	—
9月末	10,030	0.0	14.2	—	※45.1
10月末	10,030	0.0	※59.3	—	※32.2
11月末	10,030	0.0	※48.8	—	※48.7
12月末	10,031	0.0	※48.5	—	※48.4
2016年 1月末	10,031	0.0	※48.2	—	※48.1
2月末	10,031	0.0	—	—	※47.9
3月末	10,031	0.0	—	—	※47.9
4月末	10,031	0.0	—	—	※48.2
5月末	10,030	0.0	—	—	※47.8
(期末) 2016年 6月15日	10,030	0.0	※47.9	—	※47.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

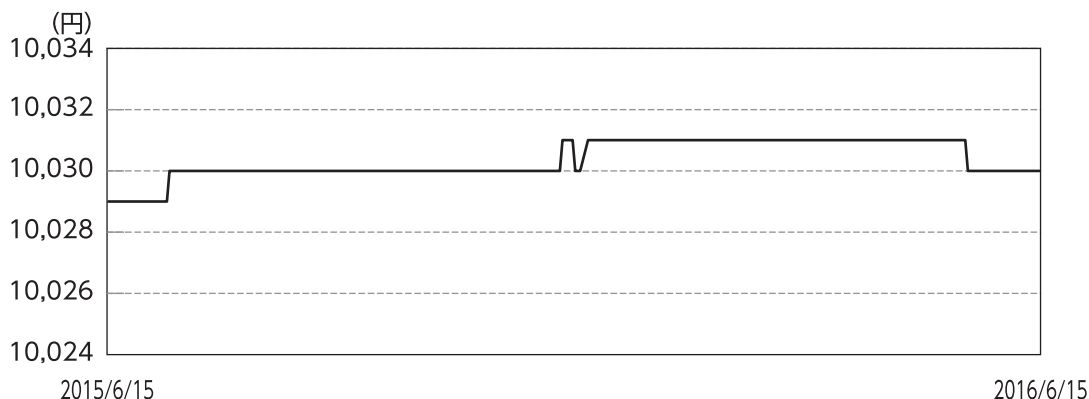
(注2) 債券先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) ※印は現先で保有している債券を含みます。

当期中の運用経過と今後の運用方針

■当期中の基準価額の推移

(2015年6月16日から2016年6月15日まで)



■基準価額の変動要因

国庫短期証券(3ヶ月物)のマイナス利回りでの推移とマイナス幅の拡大があげられます。

■投資環境

日銀による「量的・質的金融緩和」が継続するなか、日本の短期金利は極めて低位で推移しました。

主要な投資対象の一つとしている国庫短期証券(3ヶ月物)については、期初から概ね0%をやや下回るマイナス利回りでの推移しましたが、2015年11月には、年末に向けた短期国債需要の高まりや日銀による買入オペ金額の拡大等を背景に、利回りのマイナス幅が拡大し、一時 $\Delta 0.11\%$ 台に達しました。さらに、2016年1月末に、日銀による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入が決定されて以降は、短期国債利回りのマイナス幅が一段と拡大し、期末の国庫短期証券(3ヶ月物)の利回りは $\Delta 0.25\%$ 近辺での推移となりました。

■当ファンドのポートフォリオ

主に、国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引による運用を行ないました。

■今後の運用方針

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引、コール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

## 2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

### 1万口当たりの費用明細

(2015年6月16日～2016年6月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	－円	－%
(公社債)	(－)	(－)
(現先)	(－)	(－)
(b) その他費用	1	0.01
(保管費用)	(－)	(－)
(その他)	(1)	(0.01)
合計	1	0.01

期中の平均基準価額は10,030円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については8ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### 売買および取引の状況

#### ■ 公社債

(2015年6月16日から2016年6月15日まで)

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	国債証券	206,463,527	208,343,113 (520,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 国債証券の買付額、売付額には現先を含みます。

#### ■ その他有価証券

(2015年6月16日から2016年6月15日まで)

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	コマーシャル・ペーパー	117,290,486	116,690,675 (－)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) コマーシャル・ペーパーの買付額、売付額には現先を含みます。

## 2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

### 主要な売買銘柄

#### ■ 公社債

(2015年6月16日から2016年6月15日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第537回国庫短期証券(現先取引)	16,001,370	第537回国庫短期証券(現先取引)	16,001,379
第553回国庫短期証券(現先取引)	11,500,285	第553回国庫短期証券(現先取引)	11,500,291
第543回国庫短期証券(現先取引)	10,501,937	第543回国庫短期証券(現先取引)	10,501,943
第550回国庫短期証券※	9,220,069	第550回国庫短期証券(現先取引)	9,000,076
第541回国庫短期証券(現先取引)	9,000,000	第541回国庫短期証券(現先取引)	9,000,000
第547回国庫短期証券(現先取引)	8,500,000	第547回国庫短期証券(現先取引)	8,500,003
第575回国庫短期証券(現先取引)	7,603,359	第538回国庫短期証券(現先取引)	8,000,005
第549回国庫短期証券(現先取引)	7,502,825	第575回国庫短期証券(現先取引)	7,603,361
第556回国庫短期証券(現先取引)	7,500,270	第549回国庫短期証券(現先取引)	7,502,832
第583回国庫短期証券(現先取引)	7,010,829	第556回国庫短期証券(現先取引)	7,500,273

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ※現先を含みます。

### 利害関係人との取引状況等

当期における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。(2015年6月16日から2016年6月15日まで)

(\*) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

### 組入資産の明細

#### ■ 国内(邦貨建) 公社債

(2016年6月15日現在)

区 分	当 期				未		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	600,000	600,504	47.9	—	—	—	47.9
	(600,000)	(600,504)	(47.9)	(—)	(—)	(—)	(47.9)
合 計	600,000	600,504	47.9	—	—	—	47.9
	(600,000)	(600,504)	(47.9)	(—)	(—)	(—)	(47.9)

(注1) ( )内は非上場債で内書き。

(注2) 組入比率は、純資産総額(ただし追加型公社債投信については資産総額)に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 国債証券には現先を含みます。

## 2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

### ■国内(邦貨建)公社債銘柄別

(2016年6月15日現在)

区 分	銘 柄 名	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第599回 国庫短期証券(現先取引)	% —	千円 600,000	千円 600,504	2016/10/11
合 計	銘柄数 1銘柄				
	金 額		600,000	600,504	

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### ■国内(邦貨建)その他有価証券

(2016年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ マ ー シ ャ ル ・ ペ ー パ ー	千円 599,999	% 47.8
合 計	599,999	47.8

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切捨て。

## 投資信託財産の構成

(2016年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
現 先	千円 1,200,503	% 95.7
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	54,193	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,254,696	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

#### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,254,696,667円
コール・ローン等	54,192,754
現 先	1,200,503,913
(B) 負 債	18,778
その他未払費用	18,778
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,254,677,889
元 本	1,250,916,409
次 期 繰 越 損 益 金	3,761,480
(D) 受 益 権 総 口 数	1,250,916,409口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,030円

- (注1) 期首元本額 3,091,933,609円  
 期中追加設定元本額 1,897,786,357円  
 期中一部解約元本額 3,738,803,557円
- (注2) 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額  
 楽天ブルーベア・マネープール 1,247,427,225円  
 楽天USリート・トリプルエンジン・プラス (リアル) 毎月分配型 2,492,274円  
 新ホリコ・フォーカス・ファンド 996,910円

#### ■損益の状況

(自2015年6月16日 至2016年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	286,769円
受 取 利 息	295,711
支 払 利 息	△ 8,942
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	520
売 買 益	520
(C) 信 託 報 酬 等	△ 110,877
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	176,412
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	9,067,868
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 11,196,443
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,713,643
(H) 合 計 (D+E+F+G)	3,761,480
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	3,761,480

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## お知らせ

一般社団法人投資信託協会の「信用リスク集中回避のための投資制限に係るガイドライン」に従い、所要の変更を行ないました。

(約款変更実施日：2015年12月9日)